

2021年度 玉成保育専門学校 自己評価 2022年3月実施(教員3名・教務事務2名) 平均値

● 評価の方法

教職員に対して、各評価項目を「専修学校における学校評価ガイドライン」を準じて4段階で評価するとともに評価の根拠についても記述するアンケートを実施し、その評価点の平均値を算出して評価項目の評価点とした。また、各領域の評価点は、領域内の各評価項目の評価点の平均値とした。

● 評価点

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

1. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	評価点	
1.学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3.7
2.学校の特色として挙げられるものはあるか	4	
3.学校の将来構想は策定されているか	3.4	
4.学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、教職員、生徒及び保護者に伝わっているか	3.2	

【課題】

- ① 社会の変化に伴い、学校の将来構想を描く
- ② 教職員は学校の理念・目的・育成人材像・特色を理解しており、学生には周知しているが、保護者に直接伝える機会がない

【今後の改善方策】

- ① 5年後、10年後のビジョンについての話し合い
- ② 学生だけでなく保護者と連携をする→保護者会の復活

2. 学校運営

評価項目	評価点	
1.目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3.8
2.学校は事業計画に沿って運営されているか	4	
3.教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	
4.教務の意思決定システムは整備されているか	3.8	
5.情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	

【課題】

- ① 教務システムの起動が遅い
- ② 紙ベースの作業が多い

【今後の改善方策】

- ① 情報システムの適切な活用を教員全員で計る
- ② 書類のデータ化

3. 教育活動

評価項目	評価点	
1.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3.8
2.教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8	
3.学科等のカリキュラムは目標達成に向け、体系的に編成されているか	4	
4.キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが実施されているか	3.8	
5.授業をより良く改善するための授業評価を実施しているか	4	
6.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
7.資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	
8.職員の資質向上・指導力向上のための研修等が行われているか	3	
9.生徒一人一人の学習状況を把握し、適切な指導が行われているか	3.6	

【課題】

- ① コロナ禍で教職員の資質向上、指導力向上の研修が実施できなかった
- ② コロナの影響で他者との関りも減り、学生一人ひとりの抱える問題、課題の理解及びその指導の重要性が増している
- ③ コロナ禍で本校独自の学びであるフレンドリーウィーク・プラクティカルスタディの実施ができなかったため、教育実習等に向けた実践的な取り組みに対する理解が整わないまま現場に行き、順応できない学生がいる

【今後の改善方策】

- ① 教職員対象の研修の開催、お互いの授業を見合う
- ② 学生にコミュニケーションスキルを身に付けさせるプログラムを教科に組み込む

4.教育成果

評価項目	評価点	
1.就職率の向上が図られているか	3.8	3.5
2.資格取得率の向上が図られているか	3.6	
3.退学率の低減が図られているか	2.8	
4.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.6	

【課題】

- ① 実習が認定されず卒業できない学生がいる
- ② コロナ禍の影響もあり、例年より退学者、休学者が増加傾向にある
- ③ 支援制度の充実等で、学力格差がうまれている

【今後の改善方策】

- ① 今まで以上に学生一人ひとりに寄り添って、学生の抱えている問題を把握する
- ② 「学ぶ」楽しさ、「教える」喜びを実感するために得意科目のアシスタントティーチャーなど工夫する

5.学生支援

評価項目	評価点	
1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.4	3.5
2.学生相談に関する体制は整備されているか	4	
3.定期的に健康診断を行うなど、学生への健康面への支援体制はあるか	4	
4.課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.4	
5.納付金の分割納入等が学生の経済的側面に対する支援体制が整備されているか	4	
6.保護者と適切に連携しているか	3.2	
7.同窓会が組織され、活発に活動しているか	2.8	

【課題】

- ① 現在の同窓会の活動が学生(卒業生)の利益につながっているとは考えにくい

【今後の改善方策】

- ① 同窓会として、奨学金(給付金)の新設を検討する
- ② 同窓会役員若返りなど抜本的な改革をする
- ③ ホームカミングの実施を計画する

6.教育環境

評価項目	評価点	
1.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3.3
2.万一、災害が起きた場合に備えた保険などの措置はあるか	3.6	
3.防災に対する体制は整備されているか	3.4	

【課題】

- ① カフェテリアなど学生同士が交流できる、くつろげる場所を確保する
- ② 女子学生が多いのでトイレの設備充実が望まれる

【今後の改善方策】

- ① トイレのリフォーム

7.学生の受け入れ募集

評価項目	評価点	
1.高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.4	3.6
2.学生募集活動は、適正に行われているか	3.6	
3.学生募集活動において、資格取得・就職状況等の教育成果に関する情報は正確に伝えられているか	3.8	
4.学生納付金は、教育内容、学生及び保護者の負担などを勘案し、妥当なものとなっているか	3.6	

【課題】

- ① 過去の受験生がいる高校との連携の必要性
- ② 少子化の上に大学・短大と選択肢が増えたため入学希望者に影響がでている

【今後の改善方策】

- ① 教員による高校訪問の実施
- ② SNSを活用する
- ③ 高校説明会への積極的な参加

8.財務

評価項目	評価点	
1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	—	—
2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	—	
3.財務について会計監査が適正に行われているか	—	
4.財務情報公開の形式は整備はできているか	—	

【課題】

【今後の改善方策】

9.法令等の遵守

評価項目	評価点	
1.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3.9
2.個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	
3.学校評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.6	
4.教育情報を公開しているか	4	

【課題】

- ① コロナ禍の影響で運営委員会等を実施することができなかった
- ② 申請書類の作成方法が共有できていなかった

【今後の改善方策】

- ① オンラインも活用して定期的に運営委員会を開催し情報公開する
- ② 事務手続きをマニュアル化し、作成書類の変更は誰でも追記、訂正できるようにする

10.社会貢献・地域貢献

評価項目	評価点	
1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.2	3.1
2.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.2	
3.地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2.8	

【課題】

- ① コロナ禍で学生がボランティア活動や地域活動に参加できなかった

【今後の改善方策】

- ① コロナの終息を願いながら、感染防止に努め、演奏会の開催やボランティアへの積極的な参加を促していく